

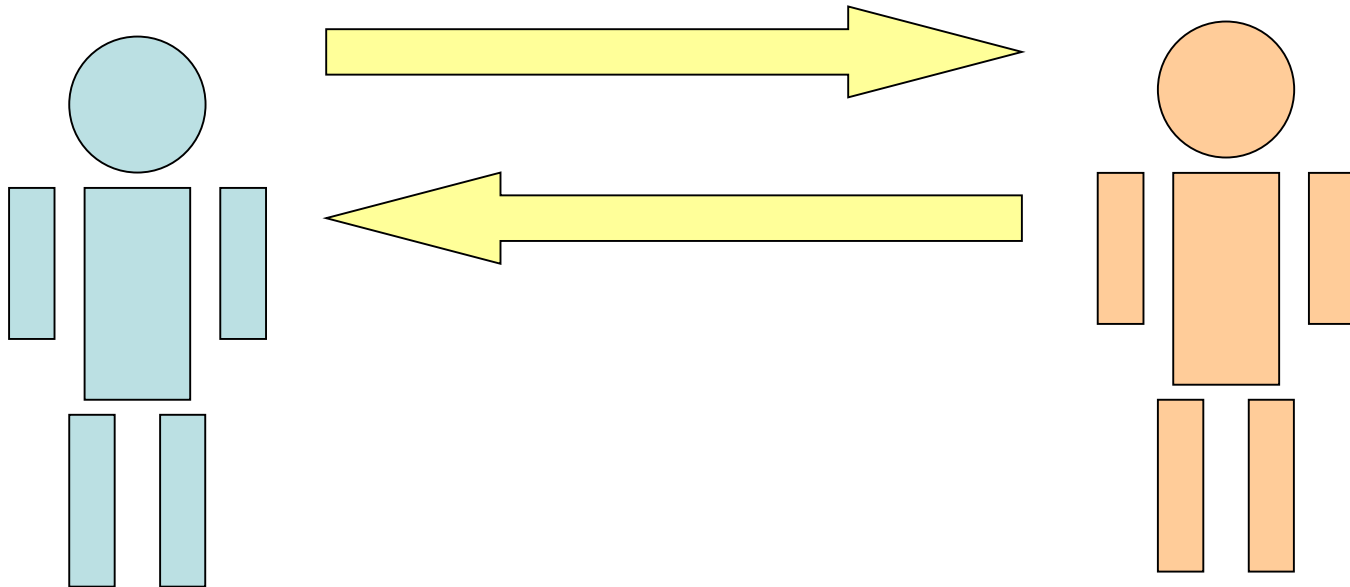
メディアとコミュニケーション

(教科書 pp.40~41)

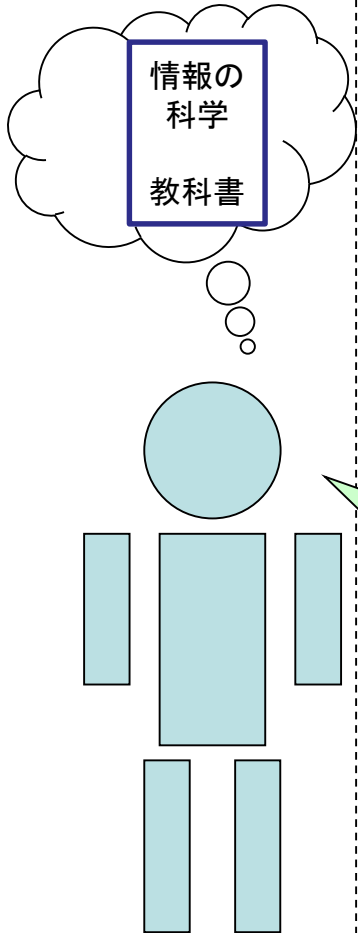
情報の科学 第37回授業
07コミュニケーションと情報デザイン
対応ファイル 20exp37.xls

「コミュニケーション」とは

- 「情報」のやりとり
- 意志疎通
- 相互作用

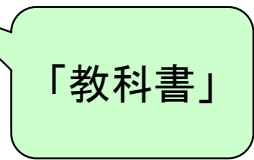
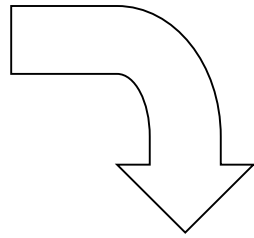


A君の世界

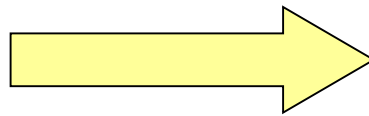


音声

記号化

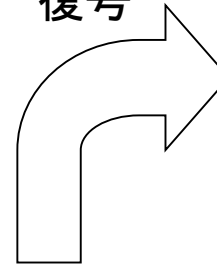


空気

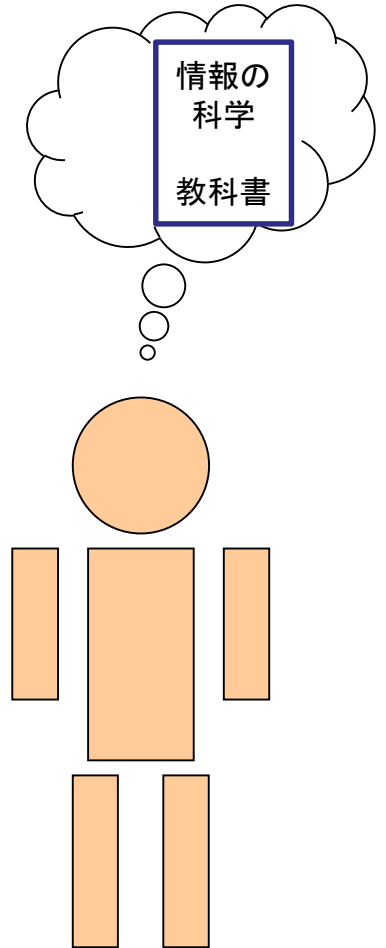


音声

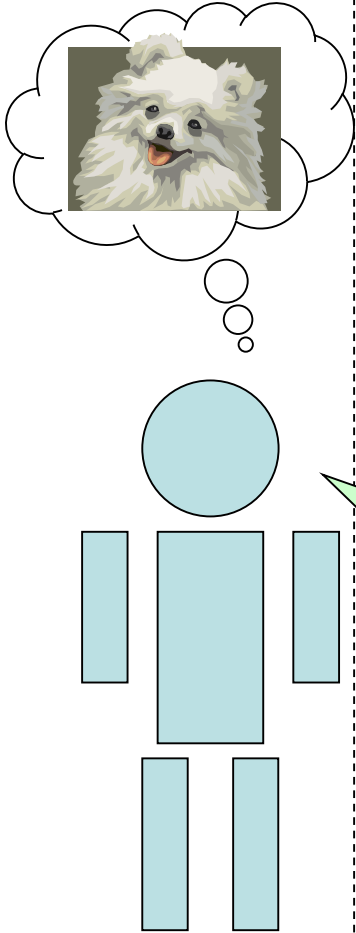
復号



Bさんの世界

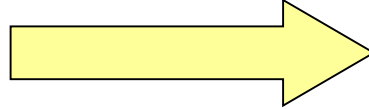
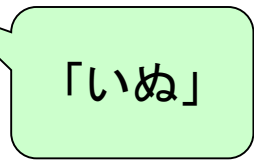
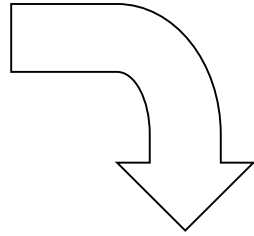


A君の世界



音声

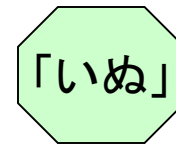
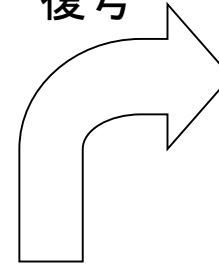
記号化



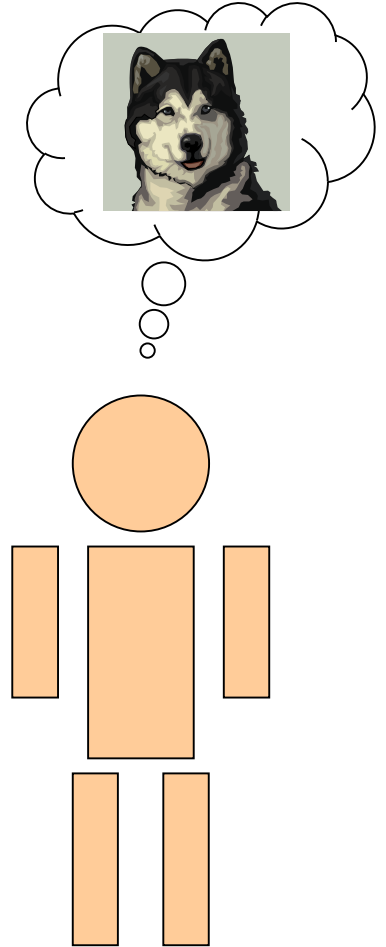
空気

音声

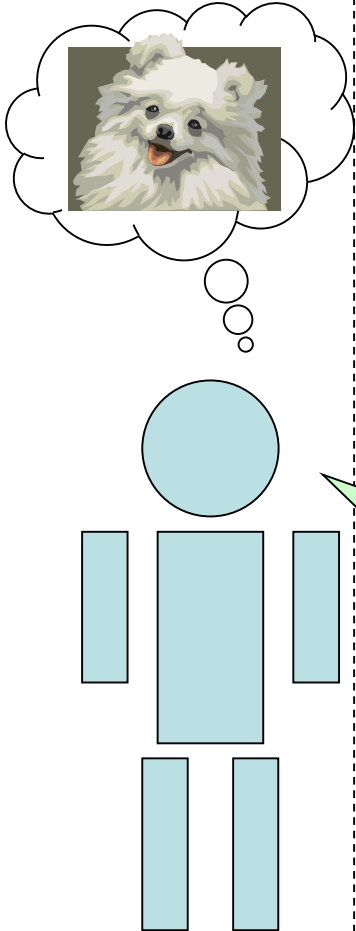
復号



Bさんの世界

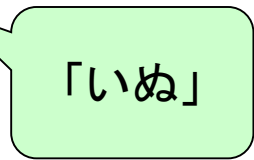
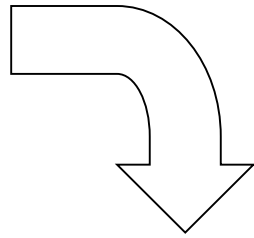


A君の世界

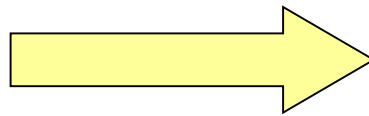


音声

記号化

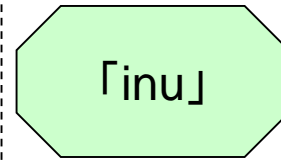
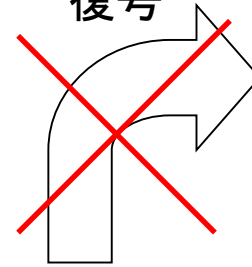


空気

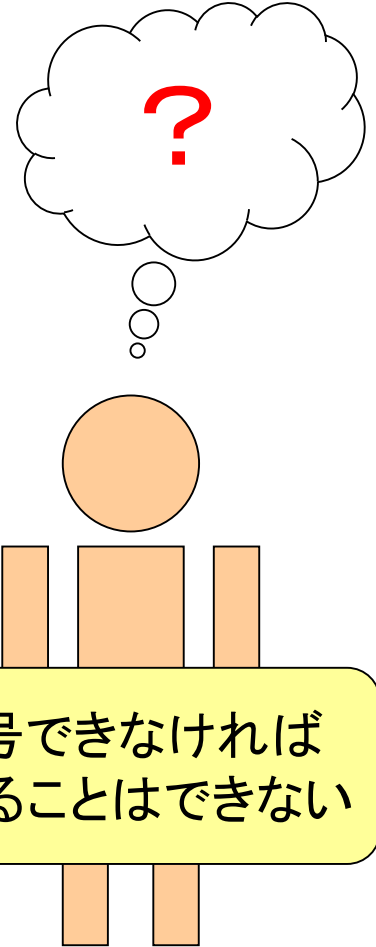


音声

復号

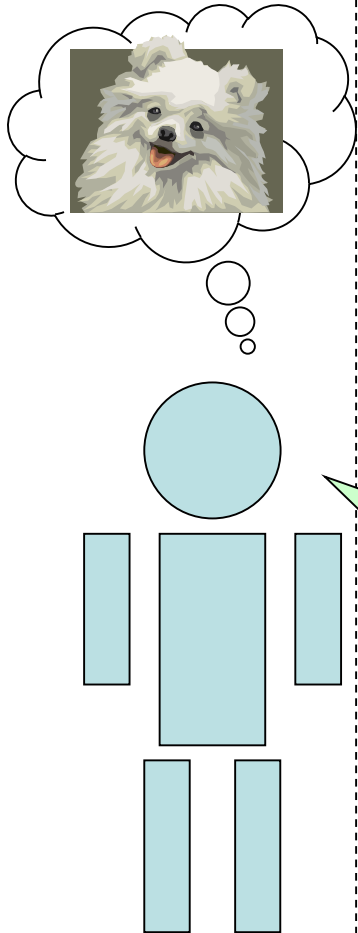


Bさんの世界



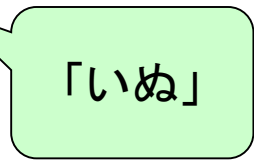
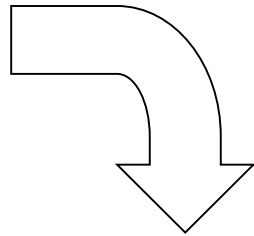
相手が復号できなければ
内容を伝えることはできない

A君の世界

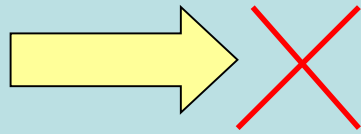


音声

記号化

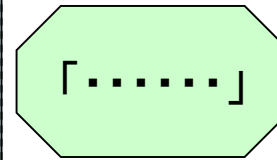
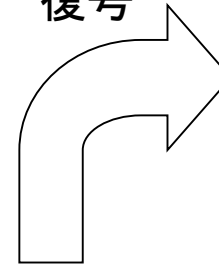


水の中

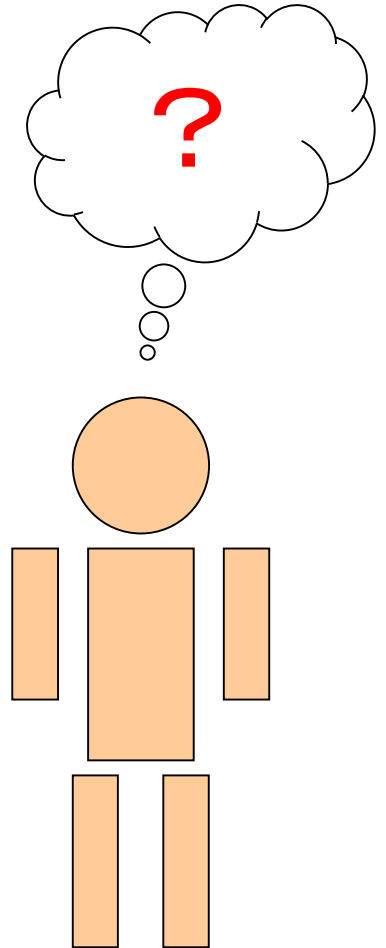


音声

復号



Bさんの世界



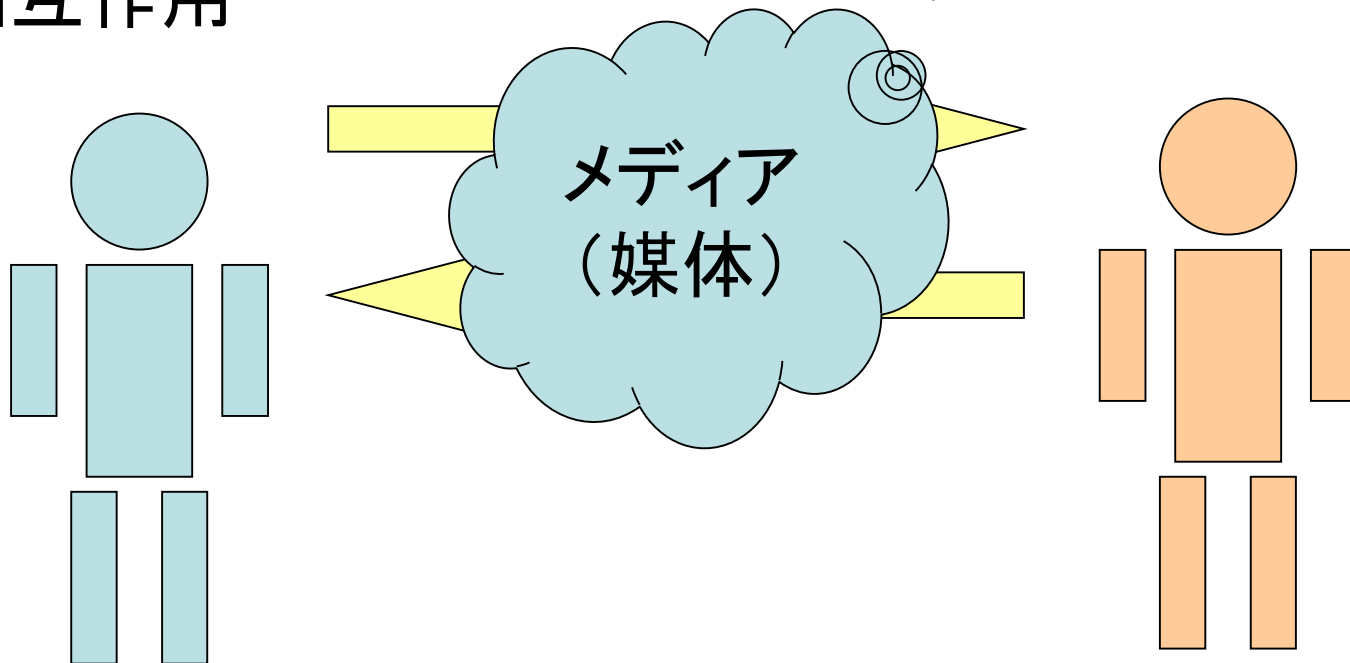
伝達経路が不適切でも
内容を伝えることはできない

「コミュニケーション」と「メディア」

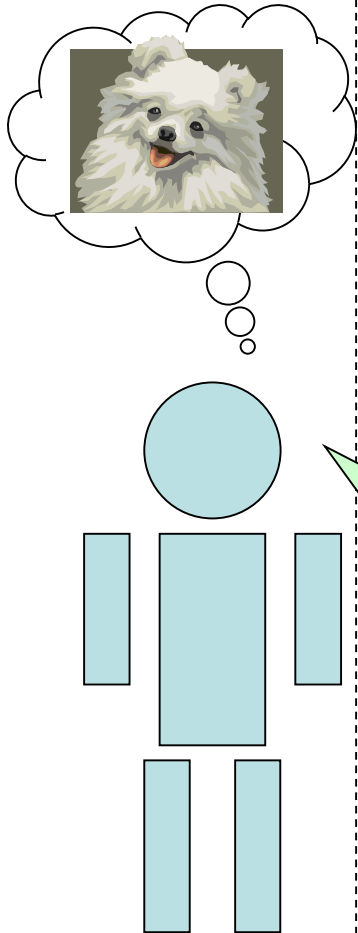
コミュニケーションとは・・・

- 「情報」のやりとり
- 意志疎通
- 相互作用

間に入って
仲立ちをするもの

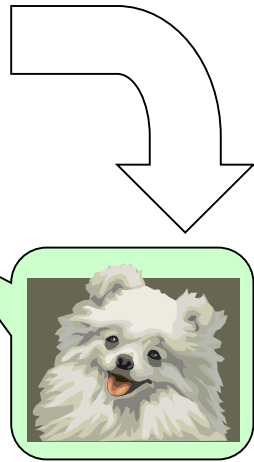


A君の世界

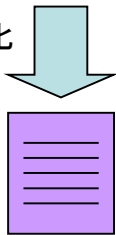


静止画

記号化



デジタル化

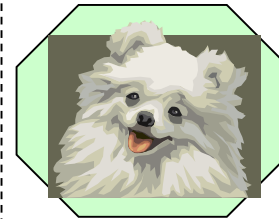


電子データ

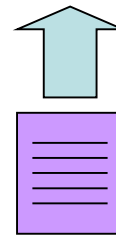
インターネット

静止画

復号

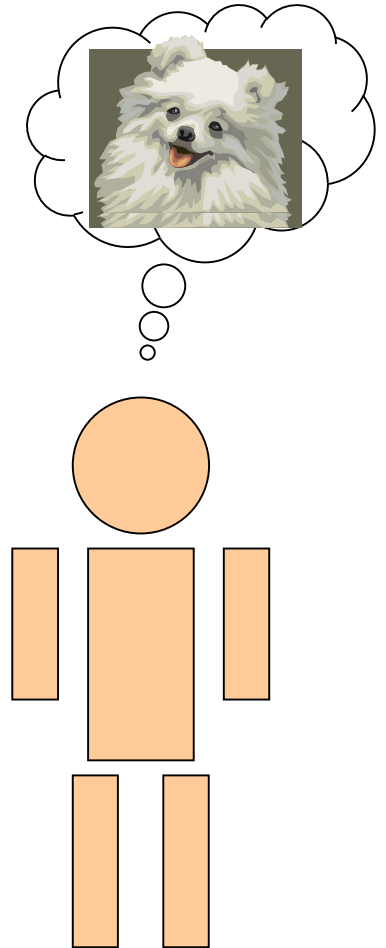


復元

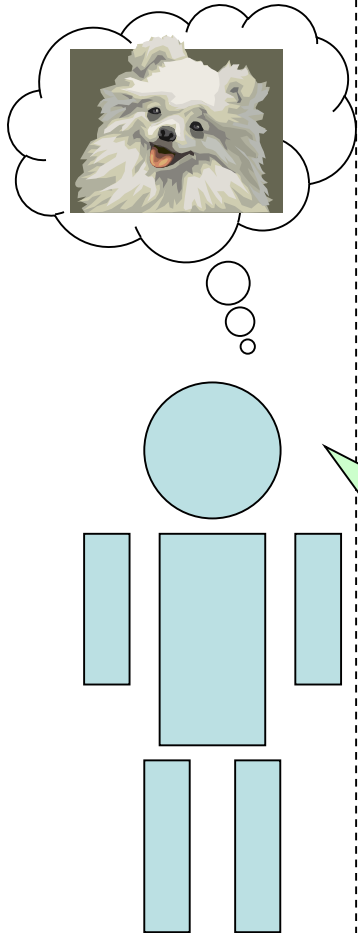


電子データ

Bさんの世界

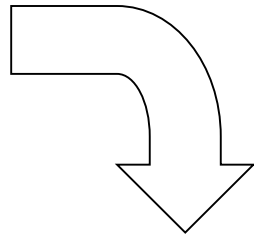


A君の世界

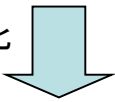


静止画

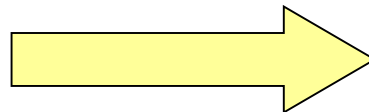
記号化



デジタル化



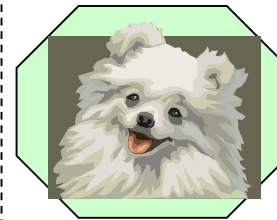
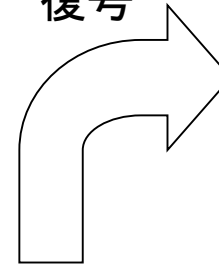
フラッシュメモリ



直送

静止画

復号

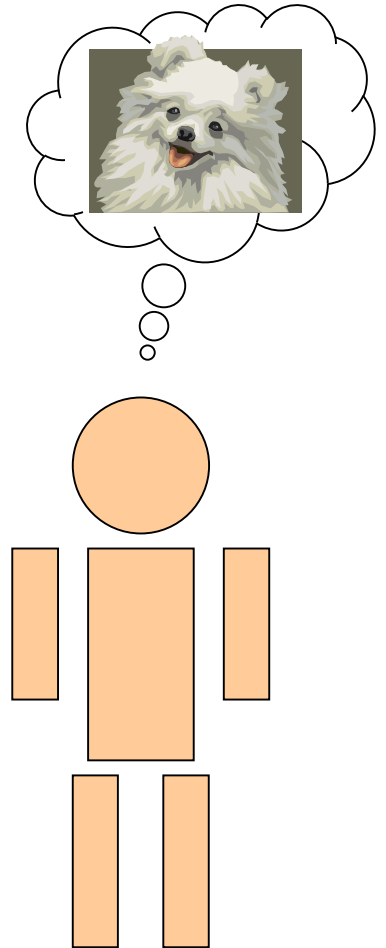


復元



フラッシュメモリ

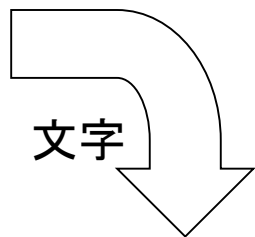
Bさんの世界



新聞社



記号化

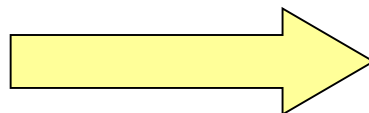


「今日の
ニュース」

印刷

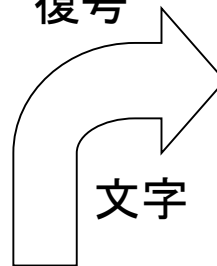


新聞紙

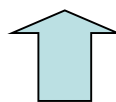


直送

復号



「今日の
ニュース」

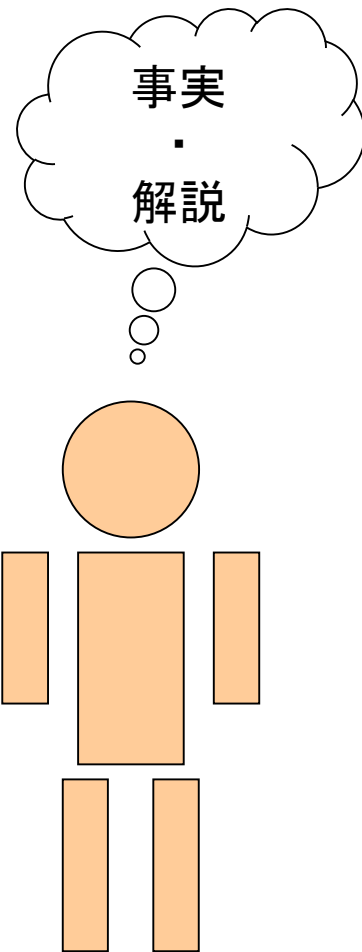


読む



新聞紙

Bさんの世界



ラジオ局



マスメディア

ラジオ
放送

情報手段

情報源
は？

音声

表現手段

どのように
表されて
いる？

電波

通信手段

何によって
運ばれて？

保存

記憶メディア



コミュニケーションの要素

- 誰に？
特定・不特定
1人・多数
- 何で？
文字、画像、音声、動画、におい など
- 何を通じて？
空気、電話線、無線、専用線 など
- どこに？
対面・すぐそば・遠く離れた所
特定・不特定の場所
- いつ？
すぐに・何日か後に など

「同期的」と「非同期的」

- 「同期的」コミュニケーション

発信者が受信者と同じ時間を共有し、同調していく
方式

例) 電話での通話、チャット、コンサート など

- 「非同期的」コミュニケーション

発信者が受信者と同じ時間を共有せずに、一方的に
情報を伝えていく方式

例) 掲示板、録画された映像、出版物 など

言葉とコミュニケーション

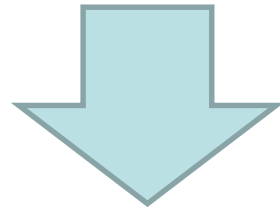
- バーバル・コミュニケーション
 - 言葉によるコミュニケーション
- ノンバーバル・コミュニケーション
 - 言葉以外で表現するコミュニケーション
 - 身振り・手振り
 - 顔の表情 など

コミュニケーションにおいては、ノンバーバル情報が極めて重要である！

情報デザイン

「情報デザイン」とは

- 様々に散らばった情報を、
- 目的に応じて収集、分析、再構築を行い、
- 相手にとってわかりやすい表現に変換すること



- 単に「美しいもの」ではなく、「目的」がある
- 伝える「相手」が存在する(→ コミュニケーション)

情報をデザインする(資料7)

- 抽象化
 - アイコン、標識、案内表示 など
- 可視化
 - 図解、グラフ、表 など
- 構造化
 - 階層化、関連、係り受け など

→ これらは密接に関わりあっている！

ユニバーサルデザイン(pp.66-67)

- 文化・言語・国籍の違い、年齢、障がいの有無や能力に関わらず利用できる製品・情報の設計(デザイン)
 - アクセシビリティ
 - 誰もが「使える」状態にすること
 - Alt属性、配色、テキスト読み上げ など
 - ユーザビリティ
 - 使う人がより「使いやすい」状態にすること
 - タッチパネル、音声での操作、